

## 巻 頭 言

### 『異文化経営研究』第19号発刊にあたって

2022年はパンデミックに加えてウクライナの戦禍という世界を震撼させる事象に衝撃を受けた年であった。世界がこの困難を乗り越えるために、さらに英知を結集しなければならないという思いを強くしながら、この巻頭言をしたためている。

そのような中であっても、『異文化経営研究』(Transcultural Management Review) 第19号が無事に発行されることは誠に喜ばしい。多大なご尽力をいただいた執筆者や編集者をはじめ、関係者の皆さまに心より御礼を申し上げる。本号には、レフリーによる査読を経て選ばれた研究論文5篇、研究ノート2篇、ケーススタディ2篇、評論1篇に加えて、招聘論文1篇と研究大会の講演録2篇が掲載されている。掲載された方のみならず、投稿されたすべての方の努力と勇気を称えたい。

2022年は3月の九州部会を皮切りに、学会活動を徐々に対面にシフトすることができた。滞りなく行われたことに感謝でいっぱいである。対面での開催により、きわめて活発な意見交換と人と人との交流の輪が広がり、本当に良かったと思う。人に会うということがこんなにも幸せと充実感をもたらすものかと改めて実感した次第である。

2022年の新しい試みとしては、アーリーステージリサーチ (ESR) セッションの設立がある。あえてアーリーステージという名称にしたのは、年齢に関わらず、研究者としてまだ初期段階にある会員が研究者として成長するためのステップとしてのセッションが必要だと認識したからである。大学院で論文を執筆する会員、社会人としての経験を踏まえて大学で教鞭を取りたいと願う会員を育成するセッションである。こういうテーマで論文を書きたいが、どのように進めたらいいかわからない、ある程度、進んだが行き詰っているのでアカデミックなアドバイスをほしい、などなど、様々なニーズがある。完成された内容でなくても発表でき、質疑の時間を多めに設定して、様々な視点から時間をかけて丁寧にアドバイスし、発表者のモチベーションがアップするように働きかける。これが ESR セッションである。

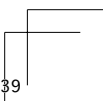
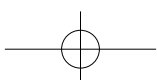
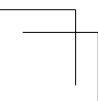
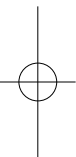
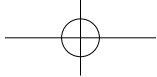
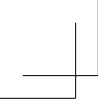
異文化経営学会は様々な活動を行っているが、会員の皆様のご理解とご関心があってはじめて可能となる。皆様の積極的なご参加と温かいご支援に心より感謝申し上げたい。

いよいよ2023年は設立20周年の節目を迎えることになる。これからも社会に役立つ学会の運営と発展に向けて、皆様とともに歩んでいきたいと心より願っている。

2022年12月

異文化経営学会 会長

馬 越 恵 美 子

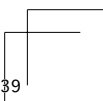
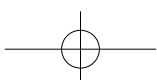
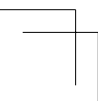
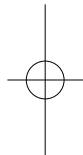
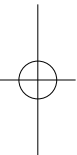
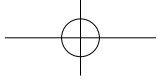
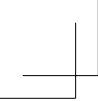


# 異文化経営学会

## パーパス

私たちはインクルーシブで活発な学会活動を通じて、文化、国籍、言語、ジェンダー、宗教、年齢、障害などのあらゆる枠を越え、すべての人が生き生きと活躍する社会を創出し、豊かで平和な社会と人々の幸せを目指します。

“Through inclusive and active academic activities, we aim to contribute to the creation of a more peaceful, happy, and prosperous society where everyone can play an active role, regardless of culture, nationality, race, language, gender identity, sexual orientation, religion, age, or disability.”



## 『異文化経営研究』第19号 目次

巻頭言 第19号発刊にあたって 馬越恵美子

### パーパス

### 招聘論文

転職と雇用制度  
—米系大手多国籍企業日本法人勤務経験者のインタビューを通じて—  
八代充史 …………… 1

### 研究論文

理工系グローバル経営人材育成のためのフレームワーク策定基盤となる  
教育要因  
—世界の Executive Education ヒアリング調査より—  
イネステーラー笠章子・池上重輔・山崎敦子・村上嘉代子…………… 13

オーケストラの資金調達と財務運営に関する日米比較  
大鐘亜樹 …………… 35

The Effect of Food Neophobia Changes Depending on Visual Appearance  
Risa JITOSHO …………… 53

Entrenchment of Labor Structures in the Employment of  
Japanese-Brazilian Workers  
Kazuyuki HAYAKAWA …………… 69

日本企業の言語マネジメントと人材戦略の関係についての—考察—  
藤原由紀子 …………… 87

### 研究ノート

南米ルーツ大学進学者のキャリア形成とダイバーシティ  
～13人の「深層的なダイバーシティ」に着目した—考察—  
鄭安君 ……………103

Hypocrisy or Naïve Insularity? Cultural Implication on the Legitimacy  
of the Policy Implementation Process in Institutionalized Japanese  
Organizations  
Yoko OKA ……………119

## ケーススタディ

- 技術者の海外赴任経験を通じた学習に関する研究：日系製造業の事例から  
矢島厚子 .....137
- 日本のグローバル製造業におけるグローバルタレントマネジメントの実践事例  
西村博昭 .....159

## 評論

- Thailand 4.0 および中小企業振興との関連性について  
三浦佳子 .....165

## 講演録

- オンライン時代にも対応！ 聞き手をつかむ伝え方のポイント  
松本和也 .....181
- ウエルビーイング経営の本質  
データが明かす新たな生き方、組織、そして幸せ  
矢野和男 .....199

- 学会賞 ..... 215
- 学会だより ..... 219

(投稿規程：巻末)